



Digital Garage

## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社デジタルガレージ

コード番号 4819 URL https://www.garage.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役 兼 社長執行役員グループCEO (氏名) 林 郁

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部 副本部長 (氏名) 野崎 洋之 TEL 03-6367-1111

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,370	53.6	8,266	-	5,479	-	5,617	-	5,833	-
2023年3月期第2四半期	14,564	△63.7	△6,642	-	△4,414	-	△4,325	-	△4,282	-

	基本的1株 当たり四半期利益	希薄化後1株 当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	123.19	121.80
2023年3月期第2四半期	△91.66	△91.66

(注) IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)の適用に伴い、2023年3月期第2四半期について遡及適用後の数値を記載しております。

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	221,297	81,865	79,552	35.9
2023年3月期	216,275	81,972	80,030	37.0

(注) IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)の適用に伴い、2023年3月期について遡及適用後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	37.00	37.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年3月期における期末配当予想は未定であります。

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

当社グループがスタートアップ企業等への投資により保有する有価証券について、期末時点の公正価値評価額を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりません。

なお、当社グループにおける収益基盤である決済事業及びマーケティング事業等を統合したプラットフォームソリューション・セグメントの税引前利益につきましては、前連結会計年度に比べ15%程度の増益を見込んでおります。詳細につきましては、(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、(添付資料)14ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	47,614,800株	2023年3月期	47,607,500株
2024年3月期2Q	2,739,371株	2023年3月期	1,534,826株
2024年3月期2Q	45,599,461株	2023年3月期2Q	47,182,634株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

四半期決算説明会については、当社ウェブサイト (<https://www.garage.co.jp/ja/ir/library/>) において日本語及び英語で動画を掲載する予定であります。この説明会で使用する資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更) .....	14
(セグメント情報) .....	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 連結経営成績の概況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同期比	
			増減額	増減率 (%)
収 益	14,564	22,370	7,807	53.6
税引前四半期利益(△損失)	△6,642	8,266	14,908	—
四半期利益(△損失)	△4,414	5,479	9,893	—
親会社の所有者に帰属する 四半期利益(△損失)	△4,325	5,617	9,942	—
四半期包括利益	△4,282	5,833	10,115	—

当第2四半期連結累計期間の収益は22,370百万円(前年同期比7,807百万円増、同53.6%増)、税引前四半期利益は8,266百万円(前年同期は6,642百万円の損失)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は5,617百万円(前年同期は4,325百万円の損失)、四半期包括利益は5,833百万円(前年同期比10,115百万円増)となりました。

当第2四半期連結累計期間は、決済取扱高が伸長したことなどにより、当社グループの事業基盤であるプラットフォームソリューションの業績が通期見通しに対し順調に進捗したほか、前年同期に計上した投資先の公正価値評価損からの反動により、税引前四半期利益は大幅な増益となりました。また、ロングタームインキュベーションでは、当社グループの中長期的な成長を牽引する新規事業への先行投資を継続し、新たな事業領域の創出を加速しているほか、グローバル投資インキュベーションでは、保有する有価証券の売却を進めるなど、中期経営計画における施策が進捗しました。

② セグメント業績の概況

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、2024年3月期を初年度とする新たな中期経営計画の発表に伴い、第1四半期連結会計期間より事業セグメントの区分を変更しております。前第2四半期連結累計期間の数値につきましても、新たな事業セグメント区分に組み替えた数値を記載しております。

(単位：百万円)

		前第2四半期 連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同期比	
				増減額	増減率 (%)
プラットフォーム ソリューション	収 益	11,358	11,966	608	5.4
	税引前四半期利益	2,811	3,298	486	17.3
ロングターム インキュベーション	収 益	2,462	2,621	159	6.5
	税引前四半期利益	988	829	△159	△16.1
グローバル投資 インキュベーション	収 益	△12	6,525	6,537	—
	税引前四半期利益	△877	5,502	6,379	—
調 整 額	収 益	755	1,257	502	66.4
	税引前四半期利益	△9,564	△1,362	8,202	—
合 計	収 益	14,564	22,370	7,807	53.6
	税引前四半期利益	△6,642	8,266	14,908	—

**【プラットフォームソリューション】**

プラットフォームソリューションでは、Eコマース（EC）及び対面店舗等のBtoC商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済をはじめ、QRコード決済、コンビニ決済等のあらゆる電子決済手段を提供する決済プラットフォーム及びインターネットとリアルを融合した総合的なデジタルマーケティングを展開しております。マーケティングを活用した小売事業者等への集客による決済機会の拡大、決済プラットフォームにより蓄積される膨大な消費者購買情報を活用した新たなデータマーケティングの開発等、当社グループのコアアセットである決済プラットフォームを軸とした事業基盤の拡大及び持続的な収益成長に向けて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の収束を受け、旅行、外食関連をはじめとした決済取扱高が前年同期比で伸長しました。また、アライアンス戦略による加盟店開拓が順調に進捗しており、対面決済領域における総合小売店の取扱いが積み上がったこと等から、決済取扱高は3.0兆円（前年同期比19.7%増）となり、セグメント業績を牽引しました。また、決済とデジタルマーケティングの連携強化を企図した事業体制への移行及びサービス開発等を推進しました。

これらの結果、収益は11,966百万円（前年同期比608百万円増、同5.4%増）、税引前四半期利益は3,298百万円（前年同期比486百万円増、同17.3%増）となりました。

**【ロングタームインキュベーション】**

ロングタームインキュベーションでは、決済プラットフォームを軸とした強固な事業基盤及び㈱カクコムが運営する日本最大級のメディアにおいて有する顧客資産等を活用した戦略事業の開発及びインキュベーションを行っております。企業間取引（BtoB）決済領域における新たなサービスのほか、各産業のDX化を支援するプロダクト開発による事業者の業務効率化及びキャッシュレス化の促進、次世代メディアの開発、暗号資産の社会実装を目指した事業開発等を行うことにより、プラットフォームソリューションの更なる高付加価値化及び成長加速を図るとともに、中長期的に企業価値を牽引する事業の創出に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、新規事業への先行投資を継続しており、当社グループにおける中長期的な成長を見据えた新たなサービスの開発及び推進に注力しました。

これらの結果、収益は2,621百万円（前年同期比159百万円増、同6.5%増）、税引前四半期利益は829百万円（前年同期比159百万円減、同16.1%減）となりました。

**【グローバル投資インキュベーション】**

グローバル投資インキュベーションでは、国内外のスタートアップ企業等への投資及び当社グループ内の事業との連携による投資先の育成等を行っております。創業以来、北米・日本・アジア・欧州を中心に築き上げてきた独自のディールソースである「グローバルインキュベーションストリーム」のほか、当社グループが運営する日本初のシードアクセラレータープログラム「Open Network Lab」等により世界中の有望なスタートアップ企業へリーチするとともに、当社グループ事業との連携を一層深めることにより、当社グループ及び投資先の企業価値の最大化を目指しております。

当第2四半期連結累計期間は、前年同期に計上した投資先の公正価値評価損からの反動により大幅な増益となったほか、外国為替相場が円安傾向で推移したこと等により、外貨建て営業投資有価証券を中心に公正価値評価額が増加しました。また、有価証券の売却及びファンドからの分配金等により、25億円の投資事業収入となりました。

これらの結果、収益は6,525百万円（前年同期比6,537百万円増）、税引前四半期利益は5,502百万円（前年同期は877百万円の損失）、営業投資有価証券の残高は、73,924百万円（前連結会計年度末比6,248百万円増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)	前連結会計年度末比	
			増減額	増減率 (%)
流動資産	144,776	148,860	4,083	2.8
非流動資産	71,498	72,437	939	1.3
資産合計	216,275	221,297	5,022	2.3
流動負債	94,780	75,353	△19,427	△20.5
非流動負債	39,522	64,079	24,556	62.1
負債合計	134,303	139,432	5,129	3.8
資本合計	81,972	81,865	△107	△0.1

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて5,022百万円増加し、221,297百万円となりました。この主な要因は、現金及び現金同等物が4,062百万円減少した一方、営業投資有価証券が6,248百万円、決済事業等に係る営業債権及びその他の債権が2,492百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて5,129百万円増加し、139,432百万円となりました。この主な要因は、決済事業等に係る営業債務及びその他の債務が7,812百万円減少した一方、社債及び借入金（流動負債及び非流動負債）が13,213百万円、金融資産の公正価値の増加等により繰延税金負債が2,080百万円増加したことによるものであります。

## (資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて107百万円減少し、81,865百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により5,617百万円増加した一方、自己株式が取得により5,000百万円増加したほか、利益剰余金が配当金により1,705百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループがスタートアップ企業等への投資により保有する有価証券について、期末時点の公正価値評価額を合理的に見積もることが困難であるため、連結業績予想の開示は行っておりませんが、当社グループにおける収益基盤である決済事業及びマーケティング事業等を統合した事業セグメントであるプラットフォームソリューションの税引前利益につきましては、前連結会計年度に比べ15%程度の増益を見込んでおります。

セグメント名	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	前 期 比	
			増 減 額	増 減 率
プラットフォーム ソリューション	税引前利益 64億円	74億円	10億円	15%

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	53,335	49,273
営業債権及びその他の債権	20,765	23,257
棚卸資産	357	447
営業投資有価証券	67,676	73,924
その他の金融資産	281	277
未収法人所得税等	1,384	877
その他の流動資産	979	805
流動資産合計	144,776	148,860
非流動資産		
有形固定資産	16,613	16,149
のれん	6,415	6,442
無形資産	4,548	4,890
投資不動産	3,400	3,776
持分法で会計処理されている投資	25,922	26,106
その他の金融資産	14,245	14,772
繰延税金資産	25	23
その他の非流動資産	331	278
非流動資産合計	71,498	72,437
資産合計	216,275	221,297

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	38,745	28,586
営業債務及びその他の債務	48,877	41,065
その他の金融負債	1,691	1,691
未払法人所得税等	1,388	606
その他の流動負債	4,080	3,406
流動負債合計	94,780	75,353
非流動負債		
社債及び借入金	13,957	37,330
その他の金融負債	9,127	8,275
退職給付に係る負債	477	469
引当金	476	478
繰延税金負債	14,717	16,797
その他の非流動負債	767	729
非流動負債合計	39,522	64,079
負債合計	134,303	139,432
資本		
資本金	7,830	7,840
資本剰余金	6,229	6,345
自己株式	△6,293	△11,156
その他の資本の構成要素	1,650	1,973
利益剰余金	70,614	74,551
親会社の所有者に帰属する持分合計	80,030	79,552
非支配持分	1,942	2,313
資本合計	81,972	81,865
負債及び資本合計	216,275	221,297

(2) 要約四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	12,146	12,791
営業投資有価証券に関する収益	233	5,708
その他の収益	336	629
金融収益	1,041	1,371
持分法による投資利益	809	1,872
収益計	14,564	22,370
費用		
売上原価	5,117	5,221
販売費及び一般管理費	7,869	8,570
その他の費用	167	175
金融費用	8,052	138
費用計	21,206	14,104
税引前四半期利益 (△損失)	△6,642	8,266
法人所得税費用	△2,228	2,787
四半期利益 (△損失)	△4,414	5,479
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△4,325	5,617
非支配持分	△89	△138
1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失)	△91.66	123.19
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失)	△91.66	121.80

## (第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
収益		
リカーリング型事業から生じる収益	6,144	6,455
営業投資有価証券に関する収益	△7,301	1,125
その他の収益	176	206
金融収益	△1,090	399
持分法による投資利益	△1,099	998
収益計	△3,170	9,183
費用		
売上原価	2,495	2,538
販売費及び一般管理費	4,112	4,403
その他の費用	87	90
金融費用	7,982	66
費用計	14,676	7,096
税引前四半期利益 (△損失)	△17,846	2,087
法人所得税費用	△5,992	643
四半期利益 (△損失)	△11,854	1,444
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△11,813	1,521
非支配持分	△42	△77
1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失)	△250.10	33.68
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失)	△250.10	33.28

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益 (△損失)	△4,414	5,479
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	△828	△300
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	22	8
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	938	645
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	0	1
税引後その他の包括利益	132	353
四半期包括利益	△4,282	5,833
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△4,199	5,965
非支配持分	△83	△132

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益 (△損失)	△11,854	1,444
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産 の公正価値の純変動	△402	△599
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	22	1
純損益に振り替えられる可能性がある項目		
在外営業活動体の換算差額	346	178
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	0	0
税引後その他の包括利益	△34	△419
四半期包括利益	△11,888	1,025
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△11,849	1,101
非支配持分	△39	△76

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2022年4月1日 残高	7,692	6,147	△1,409	613	1,660	0	2,273
会計方針の変更による累積的影響額							—
会計方針の変更を反映した当期首残高	7,692	6,147	△1,409	613	1,660	0	2,273
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				△806	932		125
四半期包括利益	—	—	—	△806	932	—	125
新株の発行	126	126					—
支配継続子会社に対する持分変動		13					—
配当金							—
株式報酬取引		△59	116				—
自己株式の取得			△0				—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△54			△54
所有者との取引額等合計	126	80	116	△54	—	—	△54
2022年9月30日 残高	7,818	6,226	△1,293	△248	2,592	0	2,344

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2022年4月1日 残高	81,035	95,738	1,479	97,217
会計方針の変更による累積的影響額	△120	△120	△0	△120
会計方針の変更を反映した当期首残高	80,916	95,618	1,479	97,097
四半期利益(△損失)	△4,325	△4,325	△89	△4,414
その他の包括利益		125	6	132
四半期包括利益	△4,325	△4,199	△83	△4,282
新株の発行		251		251
支配継続子会社に対する持分変動		13	450	463
配当金	△1,648	△1,648		△1,648
株式報酬取引		57		57
自己株式の取得		△0		△0
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	54	—		—
所有者との取引額等合計	△1,594	△1,326	450	△877
2022年9月30日 残高	74,997	90,092	1,846	91,939

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			合計
				その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	確定給付制度の再測定	
2023年4月1日 残高	7,830	6,229	△6,293	△469	2,111	8	1,650
四半期利益(△損失)							—
その他の包括利益				△293	640		347
四半期包括利益	—	—	—	△293	640	—	347
新株の発行	10	10					—
支配継続子会社に対する持分変動		△3					—
連結範囲の変動							—
配当金							—
株式報酬取引		166	137				—
自己株式の取得		△57	△5,000				—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△24			△24
その他		1					—
所有者との取引額等合計	10	116	△4,863	△24	—	—	△24
2023年9月30日 残高	7,840	6,345	△11,156	△787	2,752	8	1,973

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	資本合計
	利益剰余金	合計		
2023年4月1日 残高	70,614	80,030	1,942	81,972
四半期利益(△損失)	5,617	5,617	△138	5,479
その他の包括利益		347	6	353
四半期包括利益	5,617	5,965	△132	5,833
新株の発行		20		20
支配継続子会社に対する持分変動		△3	453	450
連結範囲の変動		—	49	49
配当金	△1,705	△1,705		△1,705
株式報酬取引		303		303
自己株式の取得		△5,057		△5,057
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	24	—		—
その他		1		1
所有者との取引額等合計	△1,680	△6,442	502	△5,940
2023年9月30日 残高	74,551	79,552	2,313	81,865

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△6,642	8,266
減価償却費及び償却費	1,804	1,857
受取利息及び受取配当金	△24	△26
支払利息及び社債利息	134	130
持分法による投資損益 (△は益)	△809	△1,872
投資有価証券に関する損益 (△は益)	7,911	△526
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△1
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	4,494	△2,708
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△1,082	△5,696
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△21	△90
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	7,784	△7,794
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△273	118
その他	△1,086	△1,161
小計	12,190	△9,502
利息及び配当金の受取額	759	731
利息の支払額	△50	△58
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△659	△612
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,239	△9,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△234	△411
無形資産の取得による支出	△772	△933
投資有価証券の取得による支出	△2	△213
投資有価証券の売却による収入	128	149
投資事業組合からの分配による収入	61	793
持分法で会計処理されている投資の取得による 支出	△38	△1
持分法で会計処理されている投資の売却による 収入	—	58
その他	△38	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△894	△560

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,030	14,510
長期借入れによる収入	1,100	25,100
長期借入金の返済による支出	△1,237	△1,623
社債の償還による支出	—	△25,000
リース負債の返済による支出	△867	△858
非支配持分からの払込による収入	463	499
自己株式の取得による支出	△0	△5,076
配当金の支払額	△1,647	△1,703
その他	9	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	851	5,853
現金及び現金同等物に係る換算差額	94	85
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,290	△4,062
現金及び現金同等物の期首残高	43,415	53,335
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,705	49,273

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税 (2021年5月改訂)	単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金の会計処理を明確化

当社グループは、IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

本改訂により、リース及び廃棄義務のように、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異が生じる場合、企業はそれにより生じる繰延税金負債及び繰延税金資産を認識することが明確になりました。

本改訂は遡及適用され、前年同四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の要約四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結財政状態計算書は、持分法で会計処理されている投資が5百万円増加、繰延税金資産が0百万円減少、繰延税金負債が118百万円増加、利益剰余金が113百万円減少、非支配持分が0百万円減少しております。また、前第2四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書は、法人所得税費用が26百万円減少し、四半期利益が26百万円増加しております。

前第2四半期連結累計期間の基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益はそれぞれ、0.55円増加しております。

前第2四半期連結累計期間の期首の資本に累積的影響額が反映されたことにより、要約四半期連結持分変動計算書において、前第2四半期連結累計期間の利益剰余金の期首残高が120百万円減少、非支配持分の期首残高が0百万円減少しております。

## (セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

なお、当社グループの報告セグメントの利益(△損失)は、税引前四半期利益(△損失)をベースとしており、セグメント間の収益は、市場実勢価格に基づいております。

また、第1四半期連結会計期間において、2024年3月期を初年度とする新たな中期経営計画を発表したことに伴い、新たなグループ体制による収益の多層化に取り組んでいくこととし、従来のビジネスに関する業績評価、資源の配分及び管理方法等を変更いたしました。

これにより、従来のセグメント区分を変更し、「プラットフォームソリューション」、「ロングタームインキュベーション」、及び「グローバル投資インキュベーション」の3つを報告セグメントとしております。

なお、前第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結
	プラットフォーム ソリューション	ロングタームイン キュベーション	グローバル投資イ ンキュベーション	計		
	百万円	百万円	百万円	百万円		
収益						
外部収益						
リカーリング型事業 から生じる収益	11,321	824	—	12,146	—	12,146
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	233	233	—	233
その他の収益	3	6	199	207	129	336
金融収益	△41	9	447	414	627	1,041
持分法による投資 利益	75	1,624	△890	809	—	809
外部収益計	11,358	2,462	△12	13,808	755	14,564
セグメント間収益	244	46	7	297	△297	—
収益計	11,602	2,509	△5	14,106	458	14,564
セグメント利益 (△損失)	2,811	988	△877	2,922	△9,564	△6,642

(注) 1. 報告セグメントの利益(△損失)の金額の調整額△9,564百万円には、セグメント間取引消去△2,857百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益4,139百万円及び全社費用△10,847百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融費用であります。

2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。

3. セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	連結
	プラットフォーム ソリューション	ロングタームイン キュベーション	グローバル投資イ ンキュベーション			
	百万円	百万円	百万円			
収益						
外部収益						
リカーリング型事業 から生じる収益	11,828	962	—	12,791	—	12,791
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	5,708	5,708	—	5,708
その他の収益	1	19	418	438	191	629
金融収益	△30	38	296	305	1,066	1,371
持分法による投資 利益	167	1,602	103	1,872	—	1,872
外部収益計	11,966	2,621	6,525	21,113	1,257	22,370
セグメント間収益	87	70	31	188	△188	—
収益計	12,053	2,691	6,556	21,301	1,070	22,370
セグメント利益	3,298	829	5,502	9,628	△1,362	8,266

(注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額△1,362百万円には、セグメント間取引消去△4,503百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益6,849百万円及び全社費用△3,709百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。

3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。

前第2四半期連結会計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	連結
	プラットフォーム ソリューション	ロングタームイン キュベーション	グローバル投資イ ンキュベーション			
	百万円	百万円	百万円			
収益						
外部収益						
リカーリング型事業 から生じる収益	5,735	409	—	6,144	—	6,144
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	△7,301	△7,301	—	△7,301
その他の収益	1	3	105	110	66	176
金融収益	△10	△32	165	124	△1,214	△1,090
持分法による投資 利益	37	783	△1,918	△1,099	—	△1,099
外部収益計	5,763	1,163	△8,949	△2,023	△1,147	△3,170
セグメント間収益	154	22	4	179	△179	—
収益計	5,916	1,185	△8,945	△1,843	△1,327	△3,170
セグメント利益 (△損失)	1,597	434	△9,404	△7,372	△10,474	△17,846

- (注) 1. 報告セグメントの利益(△損失)の金額の調整額△10,474百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益△867百万円及び全社費用△9,600百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び金融費用であります。
2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。
3. セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。

当第2四半期連結会計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	連結
	プラットフォーム ソリューション	ロングタームイン キュベーション	グローバル投資イ ンキュベーション			
	百万円	百万円	百万円			
収益						
外部収益						
リカーリング型事業 から生じる収益	5,955	500	—	6,455	—	6,455
営業投資有価証券に 関する収益	—	—	1,125	1,125	—	1,125
その他の収益	0	10	96	105	101	206
金融収益	△9	11	89	90	308	399
持分法による投資 利益	74	868	56	998	—	998
外部収益計	6,020	1,389	1,365	8,774	409	9,183
セグメント間収益	52	2	27	81	△81	—
収益計	6,072	1,391	1,392	8,855	328	9,183
セグメント利益	1,796	449	853	3,097	△1,010	2,087

(注) 1. 報告セグメントの利益の金額の調整額△1,010百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益985百万円及び全社費用△1,997百万円が含まれております。全社収益は主に本社機能から生じる金融収益であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント間収益には、リカーリング型事業から生じる収益、その他の収益及び金融収益に関するものが含まれております。

3. セグメント利益は、要約四半期連結財務諸表の税引前四半期利益(△損失)と調整を行っております。